

平成30年度学位授与式 式辞

本日ここに、平成30年度、平成最後の岐阜薬科大学学位授与式を挙行了しましたところ、公私とも大変ご多忙にも拘わらず岐阜市長 柴橋正直様、岐阜市議会議長 信田朝次様、岐阜大学学長 森脇久隆様、同窓会長 宇野進様、後援会長 吉元一弘様、文教委員長 鷺見守昭様、元・本学学長 水野瑞夫様はじめ多くのご来賓の皆様方に、ご臨席を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ただいま、長年にわたり本学に対し寄附講座・共同研究・奨学寄付金など教育・研究の発展に多大なるご支援・ご指導を賜り、これらを通じ、多くの研究者を世に送り出すことが出来ましたその貢献に対し、アピ株式会社代表取締役会長の野々垣 孝様に岐阜薬科大学名誉博士号を授与いたしました。本学が名誉博士号を授与した方は野々垣会長で3人目であります。

また、今年度、博士（薬学）を9名、同じく博士（薬科学）を6名、修士（薬学科）を33名に、そして、学士（薬学）を70名、同じく学士（薬科学科）を37名にそれぞれ学位を授与いたしました。

学位を取得されました皆様方には、心よりお祝い申し上げますとともに、これまでのご努力に対し、心より敬意を表する次第であります。

皆様方には、今日を迎えるまでには、楽しかったこと、うれしかったこと、また時にはつらかったことなど、様々な経験をされたことと思いますが、それらの経験を今後の人生の糧として、一層励んでいただきたいと思います。

皆様方は、岐阜薬科大学を巣立ち、医療の現場や医薬品の研究・開発の分野、あるいは基礎研究や行政分野など、様々な分野で、本学で学んだ薬学の知識を活かして活躍されることとなりますが、常に岐阜薬科大学の卒業生であるという誇りを持って頑張ってください。このような皆様方の門出の姿を間近に見ることは、私ども、岐阜薬科大学関係者にとっては、この上もない大きな喜びであります。

また、ご列席いただいておりますご家族の皆様方におかれましても、そのお慶びは、ひとしおのもの、心からお祝い・お慶びを申し上げます。

さて、皆様方ご承知のとおり、今、我々を取り巻く社会環境は、複雑かつ多様化しております。具体的には、経済のグローバル化の進展による国際的競争力の激化や、地球温暖化等の環境問題、地域間格差等、多くの課題が山積しております。

とりわけ、皆様方が進まれる医療・健康分野においては、世界でも類を見ない超長寿社会、高齢化社会を迎え、医療費の高騰等の問題を背景に社会保障制度の見直しや、「介護を受けたり、寝たきりになったりせず、元気に日常生活を送ることができる」健康寿命の延伸を図るため、在宅医療も含めた最適な薬物療法の提供、セルフメディケーションの推進、地域包括ケアシステムの構築などが進められております。このうち、病院等医療機関等におきましては、チーム医療の中で、がん専門薬剤師等「高度専門薬剤師」が、また、市中の薬局においては地域包括ケアシステムを推進するための「かかりつけ薬局・薬剤師」など、「薬の専門家」としての薬剤師への期待が一層大きくなっております。

また、医薬品の研究・開発、創薬と呼ばれる分野更におきましては、国民の健康を守るため、がんの治療薬等新たな薬の開発が求められております。

更にIoT、ロボット、人工知能（AI）といった先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新しい社会であるソサエティ5.0の実現を図る取り組みが急速に進展しております。

このような大きな変革が求められている社会にあって、自分は何をすべきかを常に自問し、高い志をもって、岐阜薬科大学の卒業生としての存在感を示すべく、日々研鑽していただきたいと思えます。

いずれにしましても、社会に出られたら、今まで以上に勉強し、楽しい人生、素晴らしい人生を歩んでいただきたいと思えます。そこで、社会で仕事をする上で「人と付き合う。交わる」場合の心構えを私の経験から2つの言葉を送りたいと思えます。1つは、論語にある「寛なれば即ち衆を得る。」という言葉であります。もう1つは論語と並び中国の処世訓の最高傑作であります「菜根譚」にある「世に処するに一步譲るを高しとなす。一步を退くは即ち一步を進むるの張本なり。」という言葉であります。

この2つの言葉は、共に、「世の中を生きて行くには、人に一步を譲る心がけを忘れてはならない。一步を退くことは、一步進むための前提となる。対人関係においても、なるべく寛大を旨とした方が良い結果につながる。人のために、行うことが結局は自分の利益となって跳ね返ってくる。」という意味であります。

これから長い人生の中で、また、仕事をする上で、多くの人と付き合い、交わることとなりますが、「少し譲ること、少し寛大に対応すること、それが結局は人との関係を良好にし、自分の人生を前に進めること」になると思えます。

皆さんは大きな可能性を持っています。自分自身の可能性を信じ、岐阜薬科大学の卒業生としての誇りを持って頑張ってください。

私ども岐阜薬科大学の教職員一同は、本日、自信を持って、みなさんを社会に送り出すことができることに、大きな喜びを感じております。

どうか、健康に十分ご留意され、大いに活躍されることを祈念しております。また、卒業後も母校岐阜薬科大学のさらなる発展にご協力いただくことをお願いいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

平成31年3月16日

岐阜薬科大学長 稲垣隆司